

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8273
担当部課名	土木部	河川整備	課	管理 係
事務事業名	河川維持管理費		事業コード	32510

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第5節	河川の整備	~63 年度
施策名	第1施策	治水対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

河川法第1条, 第2条, 第16条の3, 第100条

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
河川の先行取得用地や河川管理用通路, 多自然型護岸を除草することにより, 不法投棄や火災を防止し, 良好な生活環境と, 親水機能を向上させることを目的とする。		市管理河川沿線住民	
		対象数	約2000人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
除草面積 160,000㎡ 委託費 15,256千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	火災防止率	不法投棄防止率
指標式	$(\text{火災非発生面積} / \text{除草面積}) \times 100$ (H13実績: $160\text{千}^2 / 160\text{千}^2 \times 100$)	$(\text{不法投棄非発生面積} / \text{除草面積}) \times 100$ (1件1㎡とする。) (H13実績: $159,931\text{㎡} / 160,000\text{㎡} \times 100$)
指標設定の意図	除草することにより, 火災の防止効果を表す	除草することにより, 不法投棄の防止効果を表す。

5 目標と実績

[金額単位: 千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100.0	100.0	a 100.0	b 100.0	100.0	
指標	99.9	99.9	c 99.9	d 100.0	100.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	11,717	13,174	15,256	17,154	14,000
	人員・時間数	30時間	30時間	30時間	30時間	30時間
	人件費	125	125	125	125	125
	その他経費					
	合計	11,842	13,299	15,381	17,279	14,125
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{99.9}{100.0} \times 100 = 99.9\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	火災の発生は防止できるが、不法投棄の防止は一つの有効手段であり、完全に防ぐことはできない。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 近年、河川の環境に、感心がたかまっており、適応している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 : 年度当初に単価契約をすることにより、効率よく発注し、かつ緊急を要する要望に対しては、極力対応できる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 河川法に基づいて指定された河川であり、本市が河川管理者になっているため、事業の代替性はない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 市民からの要望に対しては極力対応しており、ほぼ満足できる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 洪水に対する安全性を高めるだけでなく、良好な景観を配慮するためにも有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 不法投棄や煙草の投げ捨て等による火災防止は看板等の設置により、防止効果を増すことができる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 管理用通路等を舗装すれば、除草する面積が減らせるが、上位施策の「自然に配慮した河川環境の創造」と合致しないため、検討を要する。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	近年、河川水質保持のため害虫駆除による薬剤散布が行われなくなり、蚊の発生等が増え、より除草の要望が増している。また、一部においては、河川沿線住民が自主的に除草している箇所もあるが、危険な箇所もあり、今後高齢化とともに除草要望も増加するものと思われる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--